

令和5年度 第2回学校運営協議会 議事概要

開催日：令和5年9月8日（金）

および 9月9日（土）

形態：第36回深高祭のご参観

<出席委員>

池田 実 委員

池田 吉伸 委員

里見 正憲 委員

田中 純 委員

田中 和也 委員

（参加5名、不参加3名）

<公聴者>

文化祭の参観という実施形態のため、公聴席を設けませんでした。

また、台風の影響のため、9月8日の予定を一部変更して深高祭を実施しました。

<議事等の概要>

1 深高祭の参観について各委員からの質問や感想

(1) クラス参加企画について

○生徒が主体的に動いている様子が見て取れた。食品販売は行列のできる…という感じだった。

○クラスTシャツがクラスの団結を感じさせた。

○それぞれのクラスが個性ある部屋になっていて、クラスのカラーがあってよかったと思う。飲食の提供がやっとなできるようになり、どこも完売になっていたのは、コロナで人数が読めなかったからだと感じた。

○食販団体、教室企画団体のバランスがちょうどよかった。食販団体の行列ができてしまう課題に対して、整理券、引換券を準備して時間に取りに来てもらうなどの工夫が必要か。

○教室が別世界のように装飾されており、皆で一生懸命手作りした様子が伺えた。

(2) 文化系活動や委員会の展示・発表について

○見学者もそれなりに入っていて良かった。美術部の写真が良かった。

○深高祭のポスター掲示が良かったと思った。

○保護者会のスライドショーがほぼ満席で、子ども達も自分たちの体育祭写真を見て盛り上がっている姿が印象的だった。文化系部活で写真のプリントアウトは、写真を最近手にすることがないので良かったと思う。

○数少ない活躍の場面であり、それぞれがしっかりと普段の活躍や成果をアピールできていたと思う。

(3) 体育館や屋外ステージ発表について

- ステージと観客の一体感を感じた。
- 盛況だった。
- 台風で屋外がなかったのがとても残念。体育館はとても暑い中、ダンス等で発表しているのは大変だったと思う。保護者の方々も汗だくで見ていたのは印象的だった。
- 台風の影響で屋外ステージが使用できず残念。発表はそれぞれ生徒が生き生きとしていて好感がもてる内容だった。
- 女子生徒のダンスが学年ごとグループごとに行われていた。表現力が豊かで圧倒されっぱなしだった。

(4) 生徒の活動状況について

- 楽しんでるように見て取れた。全体に穏やかな雰囲気だった。
- 品物が売り切れてないクラスの人必死になって売ろうとしている姿、装飾が崩れてしまうのを気にしている人、様々な方が最後までがんばっていたのが良かったと思う。
- 日常とは違うエネルギッシュな部分を見ることができてよかった。客に対する対応としても大変丁寧に接客していた。
- 四年ぶりに食品販売をおこなったり地域や一般の来場者を迎えたりと、従来の学園祭に戻ったことにより、生徒たちも生き生きと楽しそうに活動していた。

(5) 教員による指導の様子について

- 生徒と信頼関係が構築されている様子が見て取れた。
- 部外者からは教員がどの方かわからず、生徒さんと話している姿を目にすることはなかったので、指導の様子がわからなかった。
- 表立ってああしろ、こうしろと言う指示出しを見ることがもなく、大声で注意・指導している場面もなかった。生徒の活動をよく見て支えてくれている。

(6) その他、お気づきになった点について

- 何人かの生徒に話しかけてみたが感じよく質問に答えていただいた。学校紹介のコーナーでは熱心に質問している中学生の保護者に、職員が適切に対応されていた。
- 生徒が運営をしっかりと行っていると思った。
- 学校の門に大きな「文化祭」が無かったのが残念だった。校内のパンフレットがQRでわかりにくく、保護者には紙で何枚か用意してあげたほうが良かったと思う。(校内に聞く人もいらっしやらないので)
- 表彰について、食販、教室企画、部活動、ステージ発表など部門別に行えるとよいのではないか。企画とTシャツの2部門ではもったいない気がした。

以上